

9/23 2024

私しかいない運命呪う

声なき SOS



1

10歳までの娘の記憶を翻して、少しずつ思い出を語り始めた。おじいちゃんに大蛇を貰った日がな。りさは、後に生まれた第2人の母親代わりとして身の回りの世話を担った。

の妻の金に同様が種類。駆
外から虫の培元種井に引つ越
した。由はギャンブルに依存

中学生になりても状況は変わらなかった。学校から帰ると、保育園に預けた弟が毎日泣きながら帰ってきていた。作りたての晩飯を机の上で食べた。作る所から煮り、「普通の」といふ所から煮り。



ヤングトヨヨーとして「いたい」や「
孤独だった」と振り廻つたが、福井市内

「おまえのやうなもつれいな」
手袋類を離れた記憶はない。
この中に入らずと嘆息した。

手袋を脱ぐと記憶が蘇った。當時は「燃費保険」に加入しておなかだと腹痛。萬熱が出ていた。部屋で寝てねたらしい。翌朝起きるやうな気がした。母の下の弟を連れて車んだ。「駅も分からず、五一の頭を枕が云々強つた」リサはネグレクト（育児放棄）の犠牲者でもあった。

ヤングケアラー 年齢に見合った手伝いの範囲を超えて、本業は大人が担うべき家事や家族の世話を日常的にしている子ども。法令上の定義はないが一般的に18歳未満を指す。病気や障害がある家庭の介護のほか、幼いきょうだいの世話、ギャンブル問題を抱える家庭の対応、家計を支えるアルバイトなど貧乏時は多岐にわたる。学業に支障が出たり、健康状態に影響したりすることが懸念される。表面化しづらく、孤立する傾向が強い。

抵抗しなかつたわけではない。中学校に上がる頃、荷物をまとめて提出した。園道

め物けた。さういへなかつた。一無事かが上り、源
が止階からだ。

弟世話孤独だつた10代